

平成26年度山内図書館の目標

目標1 司書の専門性を発揮したサービスを充実します。(サービス目標)				
取組項目	山内図書館の具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
蔵書再構成5か年計画の実施	<ul style="list-style-type: none"> 地域性や利用者ニーズに即し、「子育て支援」「高齢者支援」「就労支援」「医療・健康」に関する資料の充実に努めます。 寄贈図書を受入を積極的に推進します。 青葉区制20周年を迎えるにあたり、地域資料を積極的に収集、整理し活用を推進します。 	<ul style="list-style-type: none"> 収集方針に沿った資料の収集(300冊以上) 寄贈図書受入れ目標(1,850冊) 地域資料受入れ目標(420冊) 	<ul style="list-style-type: none"> 乳幼児から高齢者まで、自身や家族の支援に繋がる資料を収集し、「子育て支援」「高齢者支援」「医療・健康」に関する資料の充実に努めました。また、「就労支援」に関しては、「就職」「転職」「復帰」「再就職」「起業」等の幅広い観点から資料を収集しました。今年度の収集方針に沿った本を、全体で355冊受入れました。 「青葉区民読書活動推進目標」の取り組みの一環として、青葉区全域に寄贈を呼びかけ、2,072冊を受入れました。 「青葉区制20周年」をキーワードとし、行政資料に限らず、関連記事が掲載されている地域情報誌等も積極的に収集しました。地域資料を全体で416冊受入れました。 	B
子ども読書活動の支援	<ul style="list-style-type: none"> 毎月の定例おはなし会や春、秋の特別おはなし会などを実施し、親子の読書活動支援をします。 子どもが本を手に取り、読書のきっかけとなる企画展示を実施します。 小学4年生～中学生による図書館サポーター企画「やまちゃんキッズクラブ」を継続して実施します。 子どもの調べ学習を支援する講座を開催します。 学校連携担当を窓口として、教職員や学校司書からの環境整備や資料に関する相談を受け付け、支援します。 児童や生徒を対象に、図書館見学や職業体験を受け入れます。 	<ul style="list-style-type: none"> 定例おはなし会(70回以上)、特別おはなし会(2回) 企画展示(通年) やまちゃんキッズクラブ(3回) 小学生の調べ方講座(1回)、小学生夏休み一日図書館員(1回) 学校連携相談受付(通年91件) 図書館見学(761名)職業体験(32名) 	<ul style="list-style-type: none"> おはなしボランティア「虹の部屋」と連携し、定例おはなし会を継続しました(54回、3月までに計72回実施予定)また、春と秋に特別おはなし会を実施しました(4回、参加83人) 子ども向けの本のリスト設置とリスト掲載本の展示を行いました。 ①新学期、よんでみようこんな本 ②夏におすすめの本 ③トリックアートの世界 リストと掲載本の他に、トリックアートパネル、ペーパークラフトを展示。トリックアートに関するDVD映像の放映。 小学4年生～中学生による図書館サポーター企画「やまちゃんキッズクラブ」を実施。5月「絵本のカバーですてきな袋を作ってみよう」(参加4人)3月に「読書ノートをつくろう」を実施予定。 子どもの読書活動を支援する講座を開催しました。「小学生のための調べ方講座」(参加8人)「小学生夏休み一日図書館員」(参加33人)「トリックアート工作会」(参加36人)「ブック&クッキングでわくわくクリスマス」(参加16人) 専任の学校連携担当を配置し、学校連携事業を積極的に展開しました。学校連携事業(158件) 図書館見学(704人)、職業体験(33人)、職業講話(18人) 	B
市民の学習活動・課題解決の支援	<ul style="list-style-type: none"> 資料の探し方や図書館の活用を支援する講座を実施します。 公的機関や民間企業、青葉区内の大学などと連携し、市民のニーズに合った講座・展示を実施します。 案内係によるクイックレファレンスの提供および、山内図書館レファレンスカウンター「山内よろず相談処」への誘導により、より多くの人に図書館のレファレンスサービスを利用していただきます。 	<ul style="list-style-type: none"> 調べ方講座(3回) 金融講座(2回)、大学連携講座(2回以上) レファレンス受付件数(対前年度比増) 	<ul style="list-style-type: none"> 大人のための調べ方講座を年度内に3回実施。検索機の使い方や本の探し方を示し、図書館の活用を支援しました。 「NISA」について学ぶマネー講座(全2回)や、青葉区6大学連携事業「山内ライブラリーカレッジ」等、市民の必要とする情報を盛り込んだ講座、保健福祉センターと連携した認知症予防、介護予防パネル展示等を実施しました。反響の大きかった企画は来年度以降も継続する予定です。 土日祝日の混雑する時間帯、カウンター付近に案内係を置いてスムーズな誘導とクイックレファレンスを行いました。レファレンス件数は4～12月の合計が9,796件で、前年度比2%減です。 	B

地域と連携した読書推進活動の充実	<ul style="list-style-type: none"> 夏のおはなし祭り、大人のためのおはなし会を継続実施し、地域で活躍する読み聞かせボランティアの活動支援と交流の場を創出します。 地域の郷土史家や団体と連携し、郷土青葉区に関連した事業を実施します。所蔵する郷土資料も併せて紹介します。 	<ul style="list-style-type: none"> 夏のおはなし祭り(1回)、大人のためのおはなし会(3回) 郷土の紙芝居口演(4回)、郷土の伝統芸能講座(1回以上) 	<ul style="list-style-type: none"> 青葉区役所地域振興課と協働で青葉区民読書活動推進会議及びワーキンググループを開催し、「青葉区民読書活動推進目標」を策定しました。 夏のおはなし祭り(8/5実施)は、参加数延べ793人でした。大人のためのおはなし会は年々参加者が増え、各回30人を超えるようになりました。二事業とも、読み聞かせボランティアの活動の場として、大きなものとなっています。 「青葉区民読書活動推進目標」の取り組みの一環として、山内図書館を会場としてビブリオバトルを2回開催しました。 あおば紙芝居一座と連携した「ふるさと青葉の紙芝居」(年度内3回+夏のおはなし祭り内で1回実施)は、郷土の解説「歴史トーク」もある、地域を知るきっかけとなる事業です。今年度から「親子で楽しむ」というサブタイトルを外したところ、大人の参加者が増えました。 郷土の伝統芸能は鉄地区と牛込地区の獅子舞を比較する展示を実施し、実地見学を企画しました。鉄の獅子舞は悪天候のため実地見学が中止となりましたが、保存会との繋がりも深まり、次年度以降も関係を継続し事業に結びつける予定です。 	A
多文化サービスの展開	<ul style="list-style-type: none"> 帰国子女が多い地域であることを踏まえ、若い世代を読書対象とした外国語図書の収集を行います。 英語の寄贈図書の受け入れを積極的にすすめます。 青葉区の国際交流ラウンジと連携を図り、青葉区在住の外国人に図書館をPRしていきます。 	<ul style="list-style-type: none"> ティーンズ向け外国語図書の購入(5冊) 外国語寄贈図書の受け入れ(80冊) 区民交流センターまつりにて利用案内ブース出展 	<ul style="list-style-type: none"> ティーンズ向けの外国語図書を5冊受け入れました。 外国語の寄贈図書を62冊受け入れました。 区民交流センターまつりにて利用案内ブースを出展しました。当日、外国人の登録が3名ありました。 	C

目標2 効率的で効果的な図書館の管理運営を推進します。〈管理運営目標〉				
取組項目	山内図書館の具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
市民の意見が反映される仕組みづくり	<ul style="list-style-type: none"> 山内図書館利用者フォーラムを開催し、利用者の声を図書館運営に反映させます。 青葉区が実施する区民意識調査に図書館や読書に関する項目を設けてもらうことにより、非来館者の声を収集します。 来館者アンケートにより、図書館利用者満足度調査を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者フォーラム(2回) 来館者アンケート(1回) 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者フォーラムを開催し、図書館運営に関する意見や要望を聞きました。 青葉区役所の協力により、青葉区の区民意識調査(アンケート)で、「読書について」の項目を設けました。図書館や図書館のサービスについて合計7問の調査を行い、今後のサービス展開の参考とすることができました。 来館者アンケート(利用者満足度調査)は3月に実施予定 	B
身近で便利な図書館サービスの充実についての検討	<ul style="list-style-type: none"> 利用者の居住地域、通勤経路にあわせて利用可能な図書取次サービスポイントを紹介するとともに、利用者が支障なくサービスを利用できるように利用方法の周知に努めます。 青葉区役所の協力の下、転入者に図書取次サービスや図書館サービスのチラシを配布します。 利用者の円滑な利用を図るため、使用頻度が高くなる時期は、1日2回駅ポストの回収を行います。 	<ul style="list-style-type: none"> 館内ポスターの再作成 転入者へのチラシ配布(5,000枚) 繁忙期の回収回数(一日2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 取次サービスポイントの館内で掲示するポスターのため、現場からの意見を踏まえて中央図書館のポスター作成に協力しました。 青葉区役所における取次チラシの配布((5,040枚) 繁忙期となる7月22日から8月30日まで駅ポストの2回目回収を行い満杯状態の緩和に努めました。※日曜日及び8月11～16日を除く。 	B

目標3 市民にとって利用しやすい快適な図書館づくりを進めます。〈独自目標〉				
取組項目	山内図書館の具体的取組	指標・目標値	実施状況	評価
ホームページや印刷物による情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ホームページとともにスマートフォン対応のページを随時更新し、幅広い層の方に利用いただけるホームページを目指します。 図書館だよりやメールマガジン・ブログを用いて、本の紹介や図書館からの重要なお知らせを発信します。 	<ul style="list-style-type: none"> 図書館だより発行(4回) メールマガジン発行(24回) ブログ更新(150回) 	<ul style="list-style-type: none"> ホームページ更新と同時にスマートフォン対応ページも即時更新し、双方にタイムラグのないよう努めました。 紙、電子媒体各々の媒体を用いて、図書館からの情報発信を行いました。 ①図書館だより(年4回:6月・9月・12月発行済。3月発行予定) ②メールマガジン(月2回発行)19回発行済。3月末までに25回分発行予定 ③ブログ更新(158回) 	B
危機管理体制の強化	<ul style="list-style-type: none"> 地震などの災害発生時に速やかに対応できるように防災訓練を実施します。地区センターとの複合施設であることから、消防訓練は、地区センターと合同で実施します。 施設管理者と連携して館内の巡視を強化します。 	<ul style="list-style-type: none"> 消防・防災訓練(2回) 館内巡視(適宜) 	<ul style="list-style-type: none"> 防災訓練を2回実施しました。そのうちの1回は併設の地区センターと合同で訓練を行いました。合同訓練では青葉区元石川消防署長に講師を依頼し、初期消火器具の取扱指導を受けました。 職員の見守りに加えて、施設管理者が1日3回腕章をつけて巡回しました。 	C
個人情報管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護研修をスタッフ全員に実施し、個人情報の適切な取り扱いを徹底します。 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護研修(2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 個人情報保護研修を2回行いました。 個人情報取り扱いに関する内部監査を1回実施しました。 リスクチェックとプロセス分析およびリスク対策を2回行いました。 	B

<p>窓口での利用者対応力の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇研修を実施し、市民に好感を持たれる対応を学びます。 ・スタッフ全員がクイックレファレンス(簡単な質問)に答えられるように研修を実施します。 	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇研修 (1回) ・資料の検索研修 (3回) 	<ul style="list-style-type: none"> ・スタッフ全員を対象としたクレーム対応研修を1回実施しました。 ・外部の専門家を講師として、職員を対象とした接遇研修を1回実施しました。 ・スタッフを対象とした資料の検索研修を3回実施しました。 	<p>B</p>
----------------------	---	---	---	----------